

<この申し入れ書を去る 11 月 18 日に田ノ浦で手渡しました>

平成 22 年 11 月 18 日

上関原電建設準備工事への妨害を
続けている町外から来た方々へ

上関町まちづくり連絡協議会

上関原電建設準備工事への妨害活動中止の申し入れ

田ノ浦海岸付近に滞在し、上関原電建設準備工事への妨害活動を 1 年以上にわたって続けている町外から来た方々へお願いいたします。

全国の多くの町や村と同様に、私たちの故郷である上関町も、過疎や高齢化に喘いでいます。そのような中、多くの上関町民が、上関原電建設を契機としたまちづくりに町の将来を託すという選択をしました。

「美しい自然を守りたい」というあなた方の主張は分かります。私たちも、自分や親たちが生まれ育ち、生活の糧としてきた海や山を守りたくないはずはなく、原子力発電所という巨大な施設ができることについて、真剣に悩み、考え抜いた結果、共存できると判断し、共に歩んでいくことを決断したのです。

あなた方が行っている妨害行為は、こうした大多数の町民の切実な願いを無責任に踏みにじるものです。どうか、工事を力づくで阻止するような行為は止めてください。また、最近では、推進町民に罵声を浴びせる方さえいます。どうか、そのような非道な振る舞いは止めてください。

あなた方は、祝島の反対派住民の声しか聞こうとせず、その声を持って自分たちの活動を正当化していますが、その他の多くの町民は、あなた方の行動により大変な迷惑を被っているという事実を、改めて自分の心に問いかけてみてください。「自分たちの行為は、『妨害』ではなく、『抗議』である」といった言葉遊びは、もうたくさんです。

確かに、祝島には、まだ反対を続けている住民がいます。彼らとは、同じ町民として、私たちが話をし、理解を求めていきます。

私たちの上関町は、私たち町民自身の手で守っていきます。

皆さんの中には、あくまでも原子力には反対という方もおられるかもしれませんが、それは、言論や主張の範囲で行ってください。これ以上、上関町に居座り、違法な妨害行為を続けることのないよう、大多数の上関町民になり代わって強く申し入れます。

以 上